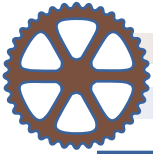




自転車を活用した 郊外部／都市部における モビリティデザインのサポート



From Suburb Cycling Road



To Downtown Cycle Lane



総合建設コンサルタント
株式会社ドーコン <http://www.docon.jp>

本社 札幌市厚別区厚別中央1条5丁目4番1号
東京支店 東京都中央区日本橋小伝馬町4番9号 小伝馬町新日本橋ビルディング
東北支店 仙台市青葉区一番町4丁目1番25号 東二番丁スクエア
名古屋事務所 名古屋市中区錦3丁目1番30号 錦マルエムビル

問い合わせ先

交通事業本部 交通部 都心交通企画室 (担当: 澤・山本郁)
TEL. 011-801-1520 FAX. 011-801-1521
東日本事業本部 名古屋事務所 (担当: 真田・打江)
TEL. 052-265-7951 FAX. 052-265-7953
東日本事業本部 東京支店 (担当: 奈良・小美野)
TEL. 03-5644-0411 FAX. 03-5644-0415



北海道のサイクルツーリズムの現状



⊗ 新たな北海道総合開発計画 (平成28年3月29日閣議決定)

世界水準の観光地形成

「サイクルツーリズムの推進」が位置づけ

⊗ 自転車活用推進法 (平成28年12月16日公布)

14の基本方針

観光旅客の再訪の促進
その他 地域活性化の支援

⊗ 北海道のサイクルツーリズム推進の機運が高まっている

- 自転車走行環境、サイクリスト受け入れ環境の改善・充実、効果的な情報発信など、持続的な取り組みを進めるための体制構築が急務
- 地域、全道が一体となって世界水準のサイクリング環境を構築することが必要

⊗ 北海道のサイクルツーリズム推進に向けた検討委員会 (平成29年2月24日)

⊗ 地域の課題(十勝地域の事例)

- 古くからサイクルツーリズムに取り組む地域。
- しかし、自治体や各団体ごとの活動が多い。

課題 「十勝が目指すサイクルツーリズム」の姿を関係者間で共有する場がない

必要な取り組み 関係者が「連携」しながらサイクルツーリズムを推進することが必要

⊗ 十勝を世界水準の観光地へ

- 「十勝サイクルツーリズム研究会」を発足

研究会の活動内容

- 勉強会での意見交換
- 現地走行ツアーの実施
- 地域の基幹ルート設定
- 基幹ルート整備アクションプラン設定
- 満足度調査、経済波及効果分析等



地域の取り組み サイクルルート「トカプチ400」

山、平野、海へ。 雄大な十勝を感じるサイクリングルート

帯広市を起終点とし、北十勝と南十勝を「8の字」で結んだ延長約400kmのロングライドのサイクリングルート



■ ルートの特色

帯広市 (JR帯広駅) を起終点とし、北は三国峠までの山岳ルート、南は日高山脈や広大な平野を望むパノラマルートなど、多様な景色を楽しめるルート。

◇ 延長 約400km

